

第6回

(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画

策定検討委員会

## 会議録

《要約版》

事務局 多可町生涯学習課

## 第6回(仮称)多可町生涯学習センター建設基本計画策定検討委員会 会議録

- 日 時 令和3年10月28日(木) 午後7時～午後9時
- 場 所 多可町図書館 会議室
- 出席者 19名/24名(敬称略)
- ・委員長 小嶋 明
  - ・副委員長 宮崎 和明 松本 壽朗
  - ・委員 熊田 正博 大上 和徳 南畝 香野子 吉田 忠雄 布一 和也  
清水 賢彦 山口 達也 遠藤 ひとみ 植山 晶子 岡本 美紀  
吉川 清 芦田 伸吾 杉本 真 山本 早希 萬浪 佳隆  
古南 宏恵
- ・事務局 地域共生担当理事兼ふくし相談支援課長 藤原 正和  
生涯学習課 課長 檜本 一郎  
生涯学習課 副課長 梅田 一志  
教育担当理事兼教育総務課長 藤本 志織  
教育総務課 図書館長 畑中 俊裕  
教育総務課 図書館司書 依藤 啓子
- 議 題 (1)次第3 報告事項  
(2)次第4 ワークショップ
- 会議結果 (1)第5回の委員プレゼンまとめ、ワークショップまとめ、建設基本計画(答申)素案について、事務局から報告しました。  
(2)委員が4グループに分かれグループワークを2回行いました。  
1回目は、施設の機能とそれに応じた施設規模について考え、意見を出し合いました。  
2回目のグループワークは、施設の建設候補地と運営について考え、意見を出し合いました。  
また、各回で各グループの意見を集約し、発表を行いました。

■会議の経過

<p>次第 1</p> <p>(事務局)</p>	<p>開会</p> <p>18名の委員が出席（※1名遅刻）。</p>
<p>次第 2</p> <p>(B副委員長)</p> <p>(事務局)</p>	<p>あいさつ</p> <p>皆さん、こんばんは。</p> <p>このセンター建設を巡る経緯について、建設が留保になったところから始まり、環境変化などは答申に反映させていこう、また、子どもたちの意見も聞いていこう、ということで、中学・高校と幅広い観点から検討しています。また、ハードからソフト面の重要性も踏まえて、運営についてもできたら考えていこうという方向で、現在進めています。</p> <p>そのようなことを踏まえ、今日第6回目になりました。素案の方向性ということで、前回の答申を生かしながら、改善できるところ、皆さんの意見をいただいたところを修正しながら、決めていく方向性を示した素案をお示ししていきます。これだけではまとまったことにはなりませんので、今日につきましては、更に今までのことを踏まえながら、素案の方向性等を引くくめて、検討の確認や落とし漏れがないかなど、幅広くもう一度見ていただきたい。そして本日の意見を再度まとめさせていただいて、検討会委員会の意見として答申としてまとめていかなければいけません。</p> <p>今日の意見をまとめまして、更に各部署等で答申にまとめていく訳ですが、少し心配なところもありまして、まとめたら、次にこのまま出していいのだろうか、ということも考えます。そのため申し訳ありませんが、もう1回皆さんの意見を求めたものを、本当に生かされているか、これで検討委員会として出していいものかということ、もう1回だけ見ていただきたいという思いがあります。</p> <p>このままというのも無責任なことになっては困りますので、事務局から最後に提案しますが、もう1回検討委員会を開催して、皆さんの意見の方向について、皆さんが満足いくように伺うということをお願いさせていただくということで、あいさつに代えさせていただきます。</p> <p>今日は資料と合わせてワークショップもありますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>検討委員会を1回追加で開催依頼したいことについて報告。</p>
<p>次第 3</p> <p>(委員長)</p>	<p>報告事項</p> <p>あらためまして皆さん、こんばんは。</p> <p>先ほど副委員長から、挨拶の中でも申し上げましたが、いよいよ取りまとめていく段階に入ってきました。</p> <p>そのためには何らかの叩き台が必要になります。今回、事務局で今までの意見等を精査し、取りまとめていただきました。これに基づいてワークショップ等で深めていきたいと思っております。あくまでも叩き台がないと手応えがありませんので、ご議論をいただきたいと思っております。</p>

<p>(事務局)</p>	<p>では、その叩き台について事務局から説明いたします。お願いいたします。</p> <p>(資料 1、2、3に基づき説明：要約)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資料 1：第 5 回検討委員会の各委員さんのプレゼン内容です。</li> <li>・資料 2：前回ワークショップでコンセプト、事業、名称でワークしていただき、発表していただいた内容です。</li> <li>・資料 3：建設基本計画、答申の素案や骨子にあたります。素案は平成 25 年の提言書をベースに、これまでに出た考えや意見を追加しています。まだ文章化できていないので、追記しようと考えているものをキーワードで入れています。</li> </ul> <p>皆さまの意見やキーワードが入っているかを、ワークショップで確認いただきたいと思います。</p>
<p>次第 4</p> <p>(委員長)</p> <p>(事務局)</p> <p>(事務局)</p>	<p>ワークショップ</p> <p>それでは、前回の続きということで、素案を見ながらワークショップをお願いしたいと思います。</p> <p>(ワークショップの説明)</p> <p>ワークショップの内容を説明します。</p> <p>前半は施設の機能、それに伴う施設規模を中心にご検討いただきたいと思います。</p> <p>資料 4 に平成 25 年に検討した機能、部屋をベースとして、その機能と部屋に対応するように、検討の過程で委員会、高校生・中学生、本部会議から出た意見を分類して記載しています。</p> <p>今のところ、不要な部屋や機能があるという意見はいただいておりませんので、皆さまのご意見・ご要望を形にしていくのに必要な機能等は、平成 25 年から大きくは変わらないと考えていますが、部屋・施設について、名称も含めて内容・規模について、答申に盛り込んでいくべき内容の検討を進めていただきたいと思います。</p> <p>部屋については、部屋の規模が関係すると思いますが、検討内容で出てきた内容を実現するためには、この面積で足りるのか、もう少し小さくても良いのか、というような考え方をしていただければと思います。</p> <p>最終的には、部屋の規模、面積を算出しますが、この場では計算が難しいと思います。参考として、資料 4-2 に町内の 3 プラザとアスパルの会議室等の面積一覧を載せています。部屋の大きさをイメージする材料としてお使いください。また、西脇市のみらいえもよく話題に上がりますので、参考にみらいえの主要な面積として、パンフレットも付けています。見られたことがある方はイメージできると思いますが、近隣施設として参考にいただきたいと思います。素案にも機能について追記しています。そちらもご覧いただきながら、フリートークで進めていただきたいと思います。</p> <p>(グループワークを実施)</p>

(事務局)	各班から発表、プレゼンテーションをお願いしたいと思います。
(A班)	<p>A班では、素案の配置イメージ図を1つの完成形として意見を出し合うケースが多かったのですが、ぱっと見てやたらと仕切りが多いなと思いました。小ぢんまりした仕切りがあるスペースばかり、ということで、むしろ大きなスペースで仕切りが少ない設計が望ましいのでは、という意見がありました。</p> <p>或いは、調理室や音楽室の場合でも、最小限の設備、音楽室であれば防音設備、調理室であれば水道、シンクといった基本的なものは必要ですが、できるだけ使う人が足らずは持ち込んで、極端に言えば何も無いところに入っていける。そういう意味でのオープン、仕切りが無いオープンだけではなくて、ゼロに近い状態から自分たちで作っていく、という使い方で、色々な設備についての話が出てきました。</p> <p>それと距離的に近い子育てふれあいセンターや児童館やについて、その後の運用は未知数ですが、基本的には両方使っていく場合に、今ある児童館や子育てふれあいセンターにない機能を持った場所として、それを優先的に作って欲しい、という意見がありました。</p> <p>それから、現状のこういう社会教育施設は、高齢者や女性がより使っている割合が多いのですが、若い人がなかなか来ないことが現実にあります。若い人が来たい、若い人向きに作られていることが、パッと見て分かるような、若い人がまず飛び付こうとするような場所の提案をしても、それは高齢者や女性の人にとっても決して不安ではない、と思いました。多世代、次世代との交流をしていく場所でもあるため、若い人向けに、ということも意識して作って欲しい、という意見もありました。</p> <p>具体的な部分はなかなか出にくかったのですが、このようなイメージ的な意見が割とたくさん出ました。</p>
(B班)	<p>B班は、1つ1つの部屋について、細かいことを話し合いました。</p> <p>和室の必要性について結構話題になりました。今の時代に和室が絶対に必要か、と言われたら和室の利用は少ないのではないかと、とのことで、利用するときだけ和室になるような簡易の畳でも大丈夫なのではないか、という話になりました。</p> <p>それから、和室の大きさが60㎡では大き過ぎないか、自習室は30㎡だが、これではテーブルと椅子を入れても30人も入れないのではないかな、という話になって、倍の60㎡程度が必要なのではないかと、という話が出ました。</p> <p>トイレですが、入口の近くに保育室・授乳室と併設してトイレがありますが、1カ所だけでは足りないのではないかと、できたら2カ所以上あればありがたい、と思いました。</p> <p>先ほどのグループと同様に、1つ1つの部屋を個室にするのではなく、大きな部屋で仕切れる、区切れるように利用する形が良いのでは、と思いました。</p> <p>また、できるだけ臨機応変に、使うときに使える部屋が良いのではないかと。ボランティア室や創作室や会議室、という看板を上げてしまうと、それだけのためにしか利用できないのではないかと、と一般の方は思われるので、そうではなくて多機能に使える部屋があったほうが良い、という意見がありました。</p>
(C班)	<p>C班です。共通して出たのは、多目的スペースをしっかりと使えるように、この細かい区切りではなくて、パーティションで区切って多目的として使えるスペース。正直、何㎡が必要かは専門家ではないため分からないのですが、みんなが来やすい、</p>

入りやすいスペースを作ってはどうかという話になりました。

また活用することも大事ですが、まず入口から入りやすい、入って使いやすい、というところを大事にして欲しい、という意見もあります。エントランス部分も閉鎖的ではなくて、オープンなところが良い、というお話もありました。

商工会青年部の中で最近活躍されているという話が上がり、その方々のお話を是非取り入れてはどうか、という話も出ました。いま実際に動いており、今から運営していく世代の方の話を取り入れることで、良いものができるのではないかという点。若い方で考えが及ばない点や見落としについて年齢が上の方々にフォローしていただいて、若い方の意見を聞く機会やこういう会議に入っていただければどうか、という話が出ました。そこで一番思い浮かんだのが、商工会青年部の方々がInstagramや漫才をされている方々をはじめ、ぜひ来ていただけたら、というお話も出ました。

あと、みらいえは実際にご覧になった方も多いと思いますし、メーがしやすいという意見もあります。もちろん同様なスペースが取れないとは思いますが、部屋にするところは上手く部屋にして、パーティションだけで仕切るところはそれで作っているところが、参考になると思います。特に多目的ホールや舞台も作れたり、パーティションで仕切れたり、スペースを自在に動かせるところだと思いますので、そういった面も参考になるのではないかと思います。

また、みらいえで、通路の所で外向きに学習ができる机があることをご存じの方もいると思います。非常に上手くスペースを使っていると思います。私の娘が少しそこを利用しますが、実際に図書館よりも学習がしやすい、という若者もいます。参考までにお話させていただきました。

(D班)

D班です。今は仮称ですが、ネーミングは公募すべきという意見が出ました。

結局何が大事かと言えば、運営する、運用することが一番大事です。機能がどれだけあっても、運営や運用が上手くいかないと結局、箱物だけになってしまいます。

現在の加美、八千代、中のそれぞれの木工や陶芸、染などに関して設備があります。でも、知られてない、使われてない。昔、加美に木工教室がありました。廃止されました。八千代にも陶芸窯がありました。今はなくなっています。加美区にはありますので、それを利用する。そういった運用面が最も大事ではないかと思います。

防災関係で言いますと、防災の研修や体験ができるような施設、防災に関心が持てるスペースが欲しいです。それから避難所の機能、防災・災害対策の拠点として、恐らく避難所としての指定がされると思いますので、災害時に大事な要素を入れていく必要があると思います。駐車場には、車で避難生活をされる方が多いので、マンホールトイレを設置してはどうかと思います。マンホールにトイレをセットすればできるので、そういったマンホールトイレを設置できる駐車場にして欲しいです。

あと、間伐材を使った陶芸窯が創作室にあっても良いと思います。それから3Dプリンターのようなものは、今後子どもたちの1つの教材となっていく、という意見がありました。プロジェクトマップングだとかも、これからの時代に必要ではないか、という意見も出ました。

それから大きな窓、明るくて広いカウンタースペース、仕切りがオープンな場所。学習コーナーは、プライベート的に囲われたような学習コーナーがあっても良いの

ではないかと思えます。図書館があるので、図書館設備の中で考えられるのであれば、それで充分に対応できると思えます。また、仕切られているけども一体化した空間づくり、広い空間でもって部屋が作られている機能があれば良いと思えました。

あとは飲食できるようなカフェ、中コミュニティプラザには喫茶店が横に付いているような運用もできます。有料で貸し出して、公的施設ではなく任意でやっていただく。

それから、レンタルオフィスで個人的な事業を行えるようにする、法人も活用できるように部屋を貸し出す。今は一人でもパソコンさえあればどこでもオフィスにできるので、レンタルオフィスのものを横に付ければ良いと思えます。登録されて独自に家賃をもらうことになるため、民営化できるのではないかと思えます。

それから、相談コーナーというのは、生涯学習に関わる勉強を学びたい人に必要です。どこに何があるか、加美、八千代にこういう施設がありますよ、ここにはないけども、そこへ行っていただいたら望んでるものがありますよ、という相談に対応できるコーナーも必要だと思えます。

パソコンルームがあれば良いと思えます。今八千代プラザにもあり、小学校でやっているプログラミング教室とか、施設等がグレードアップして自分のタブレットを使って学習できる環境、全館で無料Wi-Fiの設備を整えると良いと思えます。

それから大型スクリーン、パブリックビューの機能も入れて、例えば選挙の開票速報を見られる等で、大広間に大型スクリーンがあれば良いと思えました。

パーと開けたら一面鏡。大きな鏡は、舞台に必要だと思えます。可動式舞台なのが具体的に書かれていませんでした。舞台を入れて250㎡で200人の定員でしょうか。面積と定員の整合性が少し分かりにくかったのですが、舞台を作るのであれば楽屋が必要です。楽屋のない舞台っていうのは使い勝手が悪いですから。研修室を舞台にするならば、廊下を外にしないと使いづらいです。着替えたりする楽屋的な部屋が必要です。これらを詰めていくと2階建てが相応しいのではないか、という意見が出ました。

(事務局)

発表いただきありがとうございます。

実際の部屋の規模、面積は専門的な要素が出てきますので、この場で決めていただくことは難しいと思えます。本日出していただいた、広い方が良いとか、狭い方が良いという意見を参考にしまして、一度こちらで預らせていただければと思えます。専門家の話も伺いながら、施設規模をこちらで出したいと思えます。建物を考えるときに、全体を割る方法もあるかと思えますが、部屋面積を積み上げて全体面積を出していこうと思えます。その上で再度見ていただきたいと思えます。

前半のワークショップは、機能と規模を中心にお願ひしました。既に話題として出していただいておりますが、後半は、候補地、運営について掘り下げていただければと思えます。また、施設の名称については、生涯学習振興、まちづくりの拠点施設に関連して書く予定ですが、名称変更について答申内で提案することも検討します。

(グループワークを実施)

(事務局)	それでは各班の発表をお願いします。
(A班)	<p>A班は雑談のような形で進みました。候補地は①アスパル東駐車場、②アスパル東の隣接地というのが、私の私見です。中学校・高校生が来るのであれば、あの辺りしかないであろうと。新しく建てるのであれば、中央グラウンドの北側辺りだとすると、生涯学習センターの場所は①②になると考えています。子育てふれあいセンターや児童館の機能を、新しいところへ全部入れれば良いのではないかと、思います。D班から話が出ていましたように、2階建てであったり、屋上を芝生にして遊具を置けば、子育てふれあいセンターができるのでは、と私が勝手に話していました。</p> <p>名称ですが、前回出た名称よりもD班が話していたように公募も良いと思います。多可町の人たちが自分たちのセンターの名前を考えると、有意義だ、という話が出ました。運営については話ができおりません。以上でございます。</p>
(B班)	<p>候補地についてはA班と同じですが、エリアやゾーンの利点を生かす・作る観点から②アスパル東の隣接地がベターではないかと思えます。ただ、安全確保ということは前提の条件付きです。先ほど学校について話題が出ましたが、領域外や学校もゾーン形成すれば、考え方や面積について色々なことがあるかも知れませんが、考え方としては1階建てが良いのでは、ということで折り合いがつかしました。</p> <p>名称については、馴染みやすい、親しみやすいもので、公募をした方が良く、また若い人に絞って募集をかけても良いのではないかと、という話が出ました。名称案でプラザとか出ていますが、若い人たちにそれらを公募したらどうかと思えます。</p>
(C班)	<p>候補地は②アスパル東の隣接地が良いのでは、というお話です。アスパルも含めて併用という機能にして、相乗効果を図ろうと思うと、一番良いのではないかと、思います。道を挟んで反対側に作るのは、現在施設を使われている色々な方や色々なことを含めて考える必要があり、そちらよりは②が一番良いのではないかと、という話になりました。</p> <p>愛称については公募が良いのではないかと、思います。今から使う人たち、馴染みがない人たちも使っていこうと思えるように、公募するのが良いのではという話になっています。</p> <p>運営については、事務局はもちろん必ず必要だと思いますが、いま埋もれている人材が沢山活躍できるように、民間の人も入っていただく形が良いのではないかと、思います。他のところも参考にすると、女性が多く活躍されているところは施設も元気だったり、町も元気だったりすることが見られると思います。そういったところも参考にしながら、ぜひ民間の人材にも声を掛けて、みんな参加して、みんなで作成あげることができたら良いな、というお話が出ました。</p>
(D班)	<p>D班は、当初②の案が出ていましたが、考えていったら多可町の3中学校の統合の計画もあります。それから多可高校の問題もありますので、それらを考えると、中学生、高校生が利用しやすいところが良いのではないかと、なりました。そうすると、総合的に計画していくのが良いのではないかと。余暇村公園という意見も出ました。あそこの丘陵地は環境的にも良い所なので、そこに生涯学習施設が来ると、いかにも学びの里という感じがしますので、余暇村公園であっても良いのではない</p>

かと思いました。

それから、子育てふれあいセンターが入っている旧中町幼稚園は、前回委員長がおっしゃったように、他の機能も一緒に入って活動されています。そういったこともありますので、旧幼稚園を取り壊してそこに建てても良いのでは、という意見も出ました。班の中で出た意見です。

もっと総合的に計画して、将来、多可町の資産を大事に使うことを考えれば、今ある土地以外でも候補は大いにあります。もっと極端に言えば中学校を今の中央グラウンドの辺りに持って行って、統合された多可町中学として、それで中学校の用地を生涯学習センターに変える、という方法もあります。そういった色々なことを考えて、将来的に子供たちに一番負債を残さないような計画を立てるのが一番良いのではないかな、という意見がありました。

名前話は出てこなかったのですが、答申するための名前であれば、生涯学習センターのような堅い名前でも良いのではないかと思います。設置条例で使う名前はそれで、愛称的な名前は公募されるのが良いのではないかと、思っています。

(事務局)

色々な意見を出していただき、本当にありがとうございます。もう一度、事務局も総合的に考えながら、答申に盛り込んでいきたいと思えます。

候補地ですが、こちらでの提案としては、今土地が空いているところで、現在建物が立っている場所は、基本的に検討対象に挙げていません。しかし仮に、既存施設の再配置や統廃合を含めて考えますと、候補が増えてくることもあります。

意見をいただく中で中学校統合の話もいただきましたので、担当課からはいかがでしょうか。

(教育担当理事)

教育総務課です。この会議と並行しまして、「地域の学校教育のあり方を考える会」として、小中学校の今後のあり方、統合のことも含めて検討を進めていることとお話させていただいたことがあります。

第4回のこの生涯学習センターの会議の中で、PTAの意見を集約して発表いただいたことがありました。そのときに、小中学校の統合についての議論も深まる中で、生涯学習センターと小中学校統合の問題は調整できているのか、について意見もいただきました。

1点目として、小中学校のあり方を考える会でも10月15日の会議で、生涯学習センター建設に向けて協議を進めていることを、お話をさせていただきました。アスパル周辺、または中央公園周辺が、候補地としてあがっていることとお話させていただきました。

もう1点として、小中学校の今後のあり方につきましては、広報誌でも掲載し、神戸新聞にも掲載をされていましたが、9月2日の第8回会議で、中学校についてはできるだけ早く統合する、ということで、その会議の中では方向性がまとまっております。その後、10月15日に第9回の会議を行い、場所をどうするかを議論いたしました。その場所につきましては、通学の負担、子どもたちの負担を考えると、やはり中区が望ましい。その中区についても、生涯学習センター建設が検討されていることを踏まえ、生涯学習センターと連携が取りやすい近隣ということで、1つの案として中央公園のところも具体的に挙がったりしております。最終的には、中区で生涯学習センターと連携ができる場所、として、今のところ意見はまとまっているような状況です。

<p>(事務局)</p>	<p>参考までに、小学校についても言いますと、小学校は当面は現状維持していこう、となりました。ただ、令和2年度生まれの子供が66人ということ踏まえると、将来的に統合が必要です。統合時期については、統合して良かったという効果が表れるように、学校の規模としては1学年につき2学級から3学級という形でクラス替えもできることが望ましいという意見が出ています。</p> <p>また、小学校が統合ということになると、これからはやはり小中連携、小中一貫教育という中で、中学校近くに隣接して小学校を建設することが良いのではないかと、というところで意見がまとまっている状況です。</p> <p>この考える会につきましても、あと2回ほど議論を行い、予定としては令和4年2月頃に意見書をいただき、町として意見書の内容を踏まえまして、計画を立てる予定としています。</p> <p>中学校統合の話もあるため、連携を取りながら進めていきたい、と考えております。</p> <p>一般的に、本当にたくさんの意見を出していただきまして、ありがとうございました。それらをもう一度織り込みまして、答申書(案)に落としていきたいと思っております。ただ、内容によっては、皆さんの意見が一致するものもあれば、もしかすると離れていたり、もう一度調整していただいたり、ということがあるかと思っております。一度預からせていただき、こちらで作った案をもう一度見ていただく機会を考えております。ご協力をいただくこともあろうかと思っておりますけれども、何卒よろしくお願いたします。</p>
<p>次第5</p> <p>(委員長)</p>	<p>閉会</p> <p>長時間、本当にありがとうございました。</p> <p>今日発表いただきました内容が、概ね施設の概要を示している、という気がします。色々な意見はあると思いますが、本日の意見を事務局でまとめて、次回、皆さんに答申案として最終の叩き台をお示しして、もう一度ここで議論いただいて最終案にしていく、という工程を理解いただきたいと思います。</p> <p>色々な意見をいただきましたが、まず名称について、4グループとも愛称を公募したらどうか、とありました。当然、検討をしていかなければと思います。みらいえのチラシを見てもらえば分かりますが、「みらいえ」は愛称で「西脇市茜が丘複合施設」が公式名称で、愛称と正式名称は別です。今「(仮称)生涯学習センター」になっていますが、今まで出てきた意見を集約するキーワードとしてはやはり「まちづくり」だと思いますので、「生涯学習」をベースにした「まちづくり」というようなことが行政用語として使えるように、現在の形で叩き台を作りたいと思います。なお、そういう正式名称は元々使いません。例えば「ベルディーホール」は「文化会館」が公式名称ですが、ほとんどの人はわざわざ「多可町文化会館」とは呼びません。使い分けができるということで、仮称についてはキーワード2つを入れたものを検討いただくようにしたい、と思っています。</p> <p>それから運営ですが、今後この基本計画を検討して終えた後、次にステップアップするような仕組みとして、皆さんからいただいた意見を実感できる仕組み、一番のポイントだと思います。</p>

色々な意見が出ましたが、今この町で若者が一番元気なのはどこか、といったら商工会青年部です。増加率が全国一だそうです。外部から起業に相談に来られたり、人が人を呼んだりして、とにかく若者が非常に頑張っている。そういう人たちが施設に参画して、自分たちの施設、とじてくれるような運営をしていかなければ維持できないと思います。

それからもう1点あります。今、多可町の消防分団は12ありますが、全てに地域共生の研修で回っています。そこで区長さんと消防の若者のやりとりを聞くと、実に若者は真摯です。本当に集落のこと、この町の安全・安心について一生懸命考えて、取り組んでくれています。そういうのを目の当たりにすると、先ほどの商工会青年部も、消防団も、この町に若者の人的資源がいっぱいあります。

それから子育て世代の人たちは、色々なものをプレゼンしたり発表したりする場が本当はない。また、色々な創作をする教室や場所が廃れてきている。その理由の1つとして、やはり発表する場がないのです。今、童子山やみらいえ、或いは来住邸といったところで、多可町の人々がどんどん発表している。もっと身近に発表する場があれば、創作活動は飛躍的に伸びますし、グループも育ちます。そういうことも勘案しながら、施設について、また本当に使う人・使える人という観点からも、運営について指針に書き込んではどうかと思います。とにかくこの町にいる若者、若い世代の人を中心に色々なことを決める。そのように反映させていただきたいと思います。

今日の意見、場所等、教育委員会との兼ね合いも含めて、事務局で次に提示いたします。最終的な取りまとめとして、ご足労願いたいと思います。以上、あと1回よろしく願いたいと思います。

(A委員)

一つだけよろしいですか。

資料で、皆さんに統一した見解をお示ししたいです。令和3年3月で答申となっておりますが、この中の文言で中央公民館という名称があがってます。

以前の25年度の計画にそのまま手を加えていると思いますが、「現在の中央公民館」という部分もありますので、旧公民館とか廃止された公民館という表現をされた方がよいと思います。現在の多可町には中央公民館はありませんので、現在の答申とするならば、それに関して配慮が必要ではないかなと思います。

(委員長)

そのように取り計らわせていただきます。

(事務局)

ありがとうございました。説明不足で申し訳ございません。平成25年の表現をそのまま使っています。今後、全て中コミュニティプラザに直して全部に反映しますので、その点を踏まえた上でご覧いただければと思います。

皆さんお忙しいところ誠に申し訳ありませんが、本日の話をまとめて答申案を作っていきます。11月24日(水)午後7時からで、第7回の検討委員会を役場会議室で行います。どうぞよろしく願います。